

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
総合診療	内科予約2診		[内科] (循環器) 水越 正人	[内科] (糖尿) 栗栖 清悟	[内科] (肝臓) 佐藤 博明				[内科] 応援医師	
	内科予約3診	[内科] (糖尿) 佐々木 秀行	[内科] (糖尿) 小河 健一	[内科] (肝臓) 田中 寛人	[内科] (糖尿) 佐々木 秀行	[内科] (糖尿) 小河 健一				
	内科予約4診	[内科] 山根木 美香	[内科] (呼吸器) 上谷 光作	[内科] (循環器) 山本 勝廣	[脳疾患・救急] 加藤 正哉 (第1週)	[内科] (健診) 小河 健一	[内科] (循環器) 小林 克暢			
	内科新患5診	[内科] 田中 寛人	[内科] 栗栖 清悟	[内科] 山根木 美香	[内科] 山根木 美香	[内科] 山根木 美香	[内科] 上谷 光作			
	外科診	[外科] 櫻井 照久	[外科] 櫻井 照久	[外科] 鈴間 孝臣 (第2週) [外科] 佐々木 恵里 (不定期)	[外科] 櫻井 照久 (不定期)	[外科] 櫻井 照久				
脊椎ケアセンター	第6診察室	[脳神経外科] 大岩 美嗣		[脳神経外科] 大岩 美嗣	[脳神経外科] 大岩 美嗣	[脳神経外科] 応援医師	[脳神経外科] 上野 雅巳 (第1週)	[脳神経外科] 大岩 美嗣		
	第7診察室	[センター長] 川上 守	[センター長] 川上 守				[センター長] 川上 守			
	第8診察室	[整形外科] 石元 優々	[整形外科] 寺口 真年	[整形外科] 寺口 真年	[整形外科] 石元 優々	[整形外科] 石元 優々				
	リハビリテーション科	隅谷 政	隅谷 政	隅谷 政	隅谷 政	隅谷 政				
眼科	泉谷 愛	こども外来	宮本 武	手術	泉谷 愛	術前外来	黄斑外来	手術	宮本 武	
小児科	戸川 寛子	予防接種	樋口 隆造		戸川 寛子	予防接種	樋口 隆造		戸川 寛子	

※当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。 2016年7月1日現在  
 ※担当医が変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。  
 ※外科：佐々木医師の診察は不定期となるため、事前にお問い合わせください。  
 ※眼科：コンタクトレンズ外来は第2・4月曜日の午前10時00分～10時30分

紀北分院 予約センター TEL：0736-22-4600 (受付時間 月～金曜日 8時45分～15時)

## ■紀北分院看護職員採用試験を実施します

受付期間：第3回 平成28年7月11日(月)～平成28年7月29日(金)まで  
 第4回 平成28年8月8日(月)～平成28年9月9日(金)まで  
 試験日：第3回 平成28年8月13日(土)、8月20日(土) いずれかの希望日に受験できます  
 第4回 平成28年9月24日(土)  
 試験会場：紀北分院  
 採用予定日：平成29年4月1日 ※早期採用あり  
 応募方法：申込書(様式有)、卒業(見込み)証明書、成績証明書、看護師免許証(写)を同封の上、郵送してください。詳細は、紀北分院もしくは本学ホームページをご覧ください。  
 郵送先：〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1 和歌山県立医科大学事務局総務課  
 問い合わせ先：紀北分院事務室総務班もしくは看護管理室【TEL：0736-22-0066】  
 ※任期付職員(看護師、理学療法士、言語聴覚士)及び臨時職員(看護師)も募集しています  
 (問い合わせ先：紀北分院事務室総務班)。

## お知らせ

- 平成28年6月に整形外科 長田圭司助教が退職し、平成28年7月より寺口真年助教が着任しました。
- 次回の紀北分院通信「あじさい」秋号は10月です。

**当院では、禁煙外来を実施しています。ぜひご来院ください!!**

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 分院長 川上 守  
 〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺 219 TEL0736-22-0066 FAX0736-22-2579  
 ホームページアドレス <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html>  
 2016年7月発行



# あじさい



vol.17  
2016.夏号



## 理念

私たちは地域に密着した医療が実践できる質の高い医療人を育成し、安全で安心いただける医療を提供して、地域の保健医療の発展に貢献します。

## 基本方針

- 1 患者さんに信頼され、安全で心のこもった医療を行います。
- 2 豊かな人間性と専門的な知識と技術を備えた医療人を育成します。
- 3 地域に密着し、地域のニーズに応える医療機関を目指します。
- 4 近代的で最新の知識・技術を活用した医療を行い、地域の中核的医療機関としての使命を果たします。
- 5 地域の保健・医療・介護・福祉施設や行政と連携し、地域の人々の健康作りに貢献します。

## 患者さんの権利

- 当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。
- 1 個人として、尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
  - 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
  - 3 十分な情報を得た上で、自己の意志に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
  - 4 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
  - 5 個人情報やプライバシーを守られる権利があります。

## 掲載内容

- ・地域包括ケア病床を活用しよう
- ・身体障害者手帳(肝機能障害等)の認定基準等の見直し
- ・安心・安全な手術を受けていただくために
- ・外来診療医担当表
- ・紀北分院看護職員採用試験の案内



# 地域包括ケア病床を活用しよう

紀北分院では平成 27 年 10 月より、既存の病床のうち 12 床を「地域包括ケア病床」として運用してきました。従来は全て一般病床であったため入院期間がやや制約されていましたが、「地域包括ケア病床」ではもう少しゆったりと入院していただくことが可能となっています。

一般に疾病や怪我で入院し病状が改善すれば退院となるわけですが、必ずしもすぐに元の暮らしに戻れる方ばかりではありません。各種の症状がまだ残っているとか、病気は良くなっても足腰の力が低下して生活動作が危ぶまれるとか、家庭的な事情とか、いろいろな理由でもう少し入院療養を続けてから元の暮らしへ戻るほうが安心できる場合が多々あります。特に足腰の力が低下しやすい患者さんには、入院当初から疾病や怪我の治療と同時にリハビリテーションをしっかりと行って活動能力を維持できるよう努めているのですが、病状の改善後もしばらくの間リハビリテーションを継続した方がよい場合には「地域包括ケア病床」に入院していただいています。

入院と云いますと大病をイメージしてしまいがちですが、これからの高齢社会で末永く元気に暮らしていくためには、病気の身体だけでなく「弱った身体」を治療して「強い身体」にするといった発想が大事になります。風邪などで寝込んだとか、お腹を壊して食べられなかったとか、些細なことがきっかけで身体が弱った場合、放置しておくとうつ倒や骨折などを起こしてあげくの果てには寝たきりになるといった悪循環を来す恐れがあります。紀北分院では、そういった状態に対しても安全に療養しながらリハビリテーションをしっかりと受けただけのように、「地域包括ケア病床」への入院をお勧めしています。些細な原因で身体が弱ることは度々あるでしょうが、その度に「ちょっと入院」してリハビリテーションをしっかりと受け、元気になって退院すればよいのです。普段は介護保険サービスなどで生活機能を維持しながら、必要時には地域に根差した医療サービスを受けて強力に機能回復を図るといったやり方が、いつまでも活動年齢を若く保つためのコツだと思います。

「地域包括ケア病床」は住み慣れた地域で末永く生活を続けていけるように、身体が弱った場合などの回復目的で設置されています。原因となる疾病や外傷などの種類は問いません。かかりつけ医や訪問看護・介護ステーションなどと密に連携をとって退院後の生活支援に配慮することは勿論ですが、良質なリハビリテーションを十分に提供して最大限の機能回復を目指すことが最も重要なことです。紀北分院では患者さんができる限り早く元気になって元の生活へ戻っていただけるように、スタッフが丸となって充実したリハビリテーションを提供できるよう努めています。



リハビリテーション科  
准教授 隅谷 政

- 診察日  
月曜日～金曜日
- 専門分野  
リハビリテーション  
医療全般

## 平成 28 年 4 月から身体障害者手帳(肝機能障害等)の認定基準等が変わりました。

これにより必要な治療を適切に行う環境が整い、患者の QOL の改善や医療負担の軽減が期待されます。対象患者さんは、ご相談ください。

### 【認定基準の拡大】

●チャイルド・ピュー分類 C → 分類 B に拡大

国際的な肝臓機能障害の重症度分類である Child-Pugh 分類の 3 段階(A・B・C)のうち、これまで認定基準の対象とされていた分類 C (10 点以上)に加えて、分類 B (7 点以上)を対象とする。

### 【1 級・2 級の要件の緩和】

●日常生活の制限にかかる指標の見直し

血清アルブミン値、プロトロンビン時間、血清総ビリルビン値の項目のうち 1 項目以上が 3 点 → 肝性脳症、腹水、血清アルブミン値、プロトロンビン時間、血清総ビリルビン値の項目のうち 3 項目以上が 2 点以上

内科 講師 田中寛人

# 安全・安心な手術を受けていただくために

## 《手術室》

手術と聞くと、怖い・痛い・不安などのイメージをお持ちの方が多と思います。手術室内は、ドラマで見るような様子ですが、手術室看護師は、常に安全で安心できる看護と高い水準の手術をおこなえるように心がけています。スタッフは、看護師長を含めた 7 名の看護師と 3 名の看護補助員の 10 名です。スタッフ同士の連携をとりながら、手術に使用する器械の洗浄・滅菌、手術準備から手術介助・後片付けまで、すべて自分たちでおこなっています。

当手術室は、バイオクリーンルーム(フィルタを通した空気を供給し、室内の汚染粒子を制御している部屋)を含めた 2 室です。ここで、整形外科、眼科、外科、脳外科の患者さんを対象に、局所麻酔での手術を含め年間約 1000 件の手術をおこなっています。整形外科では脊椎固定手術など高い水準の手術をおこなっています。日本国内でも数少ない脊椎専用手術台(X 線透過性のジャクソン脊椎手術用テーブルと脊椎の曲がりを術中に矯正可能なアキシスジャクソン脊椎手術用テーブル)を計 2 台も保有している病院は、日本全国探しても紀北分院だけです。眼科では、白内障手術はもちろん、硝子体手術など高い水準の手術をおこなっています。外科では、乳腺手術から一般外科手術までをおこない、脳外科では穿頭手術や開頭手術まで幅広く手術をおこなっています。日々、技術と知識の向上に取り組み、先生方も手術前にカンファレンスをおこない万全の準備を進めています。

全身麻酔で手術を受けられる患者さんに対して、手術前の麻酔科診察から手術室看護師が関わりをもち、麻酔や手術に対する不安などをお聞きしています。手術前日には担当看護師が病室にお伺いし、手術室内の様子などを詳しく説明しています。「手術の途中で麻酔が切れて痛くならないの?」「麻酔から目が覚めないのでは?」など不安に感じることがたくさんあると思います。どんな内容でも遠慮せずお話しいただくことで、術前にできるだけ不安を取り除くようにお手伝いをさせていただいています。

手術の時には、少しでもリラックスしていただけるように、患者さんの好みにあった音楽を流しています。不安や緊張を和らげるために、そばで声掛けなどをおこなっています。麻酔がかかったあとも患者さんの気持ちに寄り添い、最善の周術期医療がおこなわれるよう取り組んでいます。



手術後には、術後訪問をさせていただき、自分たちがおこなった看護の評価をおこないます。また、術後の回復の過程を分かち合うために、複数回の術後訪問に取り組んでいます。傷の痛みはもちろん、苦痛に感じたことや手術の感想などどんなことでも結構ですので、お気軽にお話しいただけるとありがたいです。普段は、とても明るい職場で笑いの絶えないチームですが、ひとたび手術になると緊張感がみなぎり真剣なまなざし(左図)に変わります。

もし、紀北分院で手術を受けられることがあれば、私たち手術室看護師が安心して手術を受けることができるようお手伝いさせていただきます。

